



解熱鎮痛薬


# 三愛の頭痛薬 三愛鎮痛散

 使用上のご注意

 **してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないで下さい。
  - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。
- 服用前後は飲酒をしないで下さい。
- 長期連用しないで下さい。

 **相談すること**

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
  - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - 高齢者。
  - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - 次の診断を受けた人。  
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。  
眠気
- 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

### 効能・効果

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

### 用法・用量

年令区分	1回量
15才以上	1包
15才未満	服用しないこと

左記1回量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用して下さい。  
服用間隔は4時間以上おいて下さい。

- 用法及び用量をお守り下さい。
- 15才未満のお子さまには服用させないで下さい。

### 成分・分量

本品1日量(3包)中 1包1.5g

成分と分量	作用
アセトアミノフェン 680mg	中枢神経に作用して、すばやい鎮痛効果を発揮します。
エテンザミド 1020mg	穏やかな鎮静作用があります。
プロモバルリル尿素 600mg	他の成分働きを助けます。
無水カフェイン 250mg	

添加物として乳糖水和物、無水ケイ酸を含む。

### 保管・取扱上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- お子さまの手の届かない所に保管して下さい。
- 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります)
- 使用期限の過ぎた製品は服用しないで下さい。

発売元 株式会社 三愛薬局  
徳島市元町2丁目12

製造販売元 株式会社 廣昌堂 富山県射水市水戸田2841